

市仏連会報

発行所
 横浜市中区大平町96
 光明山西有寺内
 横浜市仏教連合会
 電話 045 (641) 3817

創刊号

就任の挨拶

会長 志村 慎 吾

今回不肖はからずも、横浜市仏教連合会々長の要職にご推薦をいただき、去る五月十日の本会第一回総会において、新会則第七条に依る総会の承認をいただきました。愚衲、もとより、浅学・非才・経験未熟の者でございますと

うてい前会長小沢省元師をはじめ歴代(初代―新善光寺故福永隆賢師、二代―大円寺故星野日亮師、三代―光明寺故白幡静憲師、四代―久成寺故佐藤宣朗師、五代―玉泉寺故吉本道堅師、六代―西有寺故横山競禪師、七代―東光禅寺小沢



第8代会長に就任した志村慎吾師

会報 小沢省元師

省元師)の会長職を執られた諸大徳方の見識・力量・その器はとうてい比にはなり得ません。よくぞこのような重任に応え得るや否や、と恐懼しておるところでございます。

最早や一応にしてもお引受けをいたしました以上は、たとえ駕馬と云へども、ひたすら鞭打って一意・専心に努力を尽す所存でございますので、よろしく御教導と御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

幸い三役中、副会長には、初代会長の本会開創者故福永隆賢師の御遺弟・福永隆昭師と六代会長故横山競禪師の御遺弟・横山敏明師のお二方を、又会計には前会長小沢省元師のお弟子になる森山正城師を、夫々本会の中核的頭脳部門にご就任を得ましたし、加えて、本会名誉会長を、大本山総持寺の老大師を推戴申し上げ、顧問に小沢省元師、参与に津川翠温師、柴田敏夫師、安藤文雄師の四長老方が夫々豊かな経験を生かし、本会の歴史的背景の見地に立って、後進の進路に顧問・参与と云う立場から照明灯のお役目をお引受けいただきましたことは、何をさておいても本会前途極めて万全であり

実に力あるものになるものと信じ得るところであります。

緒て当面の問題といたしましては、第一に新会則による組織の強化、体質の改善を計ること、そのためには、先づ機関紙(会報)を

発刊して会員相互の理解を深め、常に市仏連会員としての問題意識をかかげて、これを相念相統することだと存じます。従って可急的に機関紙を発刊して新機軸による始動を周知したいと思えます。

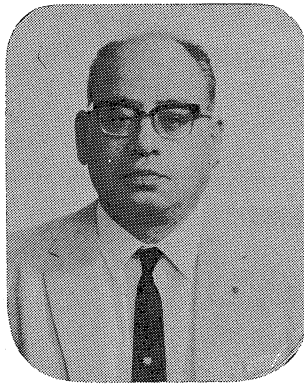
次に第二の事業としては都市寺院特有の問題脳みなどを都市の中の我々自体で解決の途を専門委員により深く掘り下げて研究し、問題点を掘り出して皆さんで更に検討して行く場、即ち委員会の幾つかを組織して、「誰れでも参加したくなるような魅力ある市仏連」に仕上げて行きたい所存であります。

「皆さんが参加して、皆さんで考へ合つて行く」の掛声を合言葉に共々に進んで行きたいと存じます。第一回総会には実施すべき諸事業が承認され、多くの御高見も拝聴いたしました。当面、財政の面では会費の値上げをしていただいて一ヶ寺年会費一、〇〇〇円見当でもやと五〇〇、〇〇〇円程度の財源のみでございます。どうぞ、いろいろ御意見もありませんが、動くにはエネルギーがカローリが、充分必要なことは御承知の事ですので、この面も是非ご理解をいただきますようお願い申し上げます。果仏組織下の本市仏連も新体制により一本化加入として多くの強力な発言を得てこそ、大都市寺院の立場で、お互いを擁護して行く様心掛けたい所存であります。

ここに新任に当りいささか所見を述べて就任のご挨拶といたします。(金沢区金龍禅院住職)

市仏連の前途を祝す

前会長 小沢省元



横浜市仏教連合会が三十年の伝統を持ちつつ大きく然も新しく脱皮する日がきたことは、洵に欣快に堪えませんが、これは昨年度の総会に於て機構改革を前程とした会則の改正を断行し、それに伴って本年度の総会で新役員を選出し、新年度の事業計画と新予算を全会一致で可決して愈々発足したからであります。

憶えば、福永隆賢、星野日亮、白幡静憲、佐藤宣朗、吉本道堅、横山競禪、小沢省元と大過なく続いてきたことは、偏に会員諸師の御理解と御協力の賜と深く感謝申し上げます。

私が副会長になったのは佐藤省元長のおかげですから、もう二十年も前の話になります。柴田敏夫、津川翠温の両副会長と共にお互に仲良く、たのしくやってきたせいか、いつの間にか歳月が流れてしまいました。今会長の席を後進にゆづるに当り両師を始め役員各位と会員の皆さまに心からお礼を申し上げます。

題、慰霊祭などいろいろありましたが、なかでも数年ぐらい続いた市仏連主催の花まつりは盛大でもあったし今はなつかしい思い出の一つであります。先日の総会でお目にかかった何人かの新しい顔は、且つて市仏を生み育てて下さった亡き先輩の後継者の方々に移り変ってゆく、そして進んでゆく、横濱も大きくなりました。

各区の会長さんも新進の人々に代りつつあるようです。こうした時期に幸いて将来期待出来る新役員が選出されましたし、会報も発刊されましたので会員相互の連絡もよくなることと思えます。この機会に気分を一新して頂き、新役員を援けて活躍する市仏連を育てて下さるよう会員の皆さまに心からお願ひ致します。

永い間お世話になりました有難うございました。ここに本会の発展を祈りつつ前途を祝して御挨拶申し上げます。

(金沢区東光禅寺住職)

新機構で再発足

第一回総会開く

市仏連新会則による第一回定期総会は、五十年五月十日日本会事務所中区大平町西有寺を会場として開催された。

横山敏明専務理事の司会で開会し、小沢省元会長の導引で物故会員各位の冥福を祈って黙禱、小沢会長の挨拶に続いて、議長に水谷静春専務理事(磯子区仏会長)を指名して議事に入った。

▽議案の第一は新役員承認の件。去る三月十五日の理事会に於て、新正・副会長が選出された経過を佐藤寿忠専務理事(西区仏会長)から報告、全員一致して志村慎吾会長、横山敏明・福永隆昭両副会長を承認した。

▽議案の第二は五十年度事業計画と予算承認の件。同じく三月十五日理事会の決定事項で主な内容は(一)会報の発行、年二回、予算六万円(二)研究会の開催、税務墓地等専門委を設置して実行推進、予算十二万円

宛抛出の積極実動予算を組み(別表)全会員の協力を要請することとして承認された。

▽議案の第三は四十九年度会計報告承認の件。別表収支報告書により説明、承認された。

能登、渡辺、川野、從野師等から市仏連充実発展を期する活発な発言があつて議事を終了、次いで志村新会長の就任挨拶と、横山副会長を専務理事に兼任指名、森山正城理事を会計に指名する発言があり盛会のうちに総会を閉じた。

役員・事業始動す

第二回臨時総会終る

五十年六月二十四日、市仏連第二回臨時総会を西有寺で開催、新会則による全役員と本年度事業実施細項が決定された。

▽議長・佐藤寿忠専務理事(西区仏会長)

▽役員への推戴と委嘱(全役員氏名は別項記載)

名誉会長に岩本総持寺貫首、顧問に小沢前会長、参与に津川・柴田両前副会長と安藤前専務理事、監事に赫田正円(鶴見区)と鷹巣道孝(戸塚区)の各師が承認され、専務理事には四頁記載の各師が承認された。

▽五十年度事業推進

前回定期総会で承認された本年度事業計画の各細項が提案された(一)会報の発行は年二回、七月と一月としてアップロード約四頁とする(二)研究会、税務研究委員会と墓地

専門委員会を設置することとし、税務委員長に友繁禪弘師、委員に佐伯隆義師、生方忠常師、斎藤隆法師を委嘱する。墓地委員長に佐藤寿忠師、委員に能登省光師外委員長が選定した委員を委嘱する。

(一)講演会実施については更に研究することとし、税務講習会を各税務署管内単位で開催出来るよう各区仏に協議し援助する。

(二)降誕会協賛は未開催区仏にも呼びかけ、全区で実施するよう協力する。

(三)対外団体等との連絡は前回総会決定通り

(四)事務所の決定は引続き中区大平町西有寺

内とする。

(一)会費納入は八月末日を期限とし、県仏会費も同時に市仏連経由で納付する。

以上各件を承認、市仏連会員で県仏役員に就任したのもとして、県仏の

総 裁 岩本勝俊禅師

副会長 小沢省元師

同 柴田敏夫師

常任顧問 能登省光師

顧問 津川翠温師

同 安藤文雄師

専務理事 志村慎吾、横山敏明、福永隆昭、森山正城、安藤総持、柳下隆侃各師

が報告されて議事を終り、次いで志村会長より小沢前会長、津川・柴田両前副会長、安藤前専務理事に感謝状と記念品を贈呈し、臨時総会を終了した。

昭和四十九年度会計報告書 <small>49. 4. 1 50. 3. 31</small>				昭和五十年年度予算書 <small>自 50. 4. 1 至 51. 3. 31</small>				
歳 入 之 部				歳 入 之 部				
科 目	予 算	決 算	備 考	科 目	予 算	比 較	備 考	
各 仏 教 会 負 担 金	鶴見区 仏教会		4,000		鶴見区 仏教会	40,000		
	神奈川区 "		3,000		神奈川区 "	30,000		
	港北区 "		5,800		港北区 "	48,000		
	緑 区 "		4,000		緑 区 "	40,000		
	西 区 "		3,000		西 区 "	30,000		
	中 区 "		2,300		中 区 "	23,000		
	保土ヶ谷区 旭		2,800		保土ヶ谷区 旭	28,000		
	南・港南区 "		5,500		南・港南区 "	55,000		
	磯子区 "		1,800		磯子区 "	18,000		
	金沢区 "		2,000		金沢区 "	20,000		
	戸塚区 "		6,000		戸塚区 "	60,000		
	瀬谷区 "		800		瀬谷区 "	8,000		
過年度負担金		27,700	8 仏教会	過年度負担金	5,500			
雑 収 入		10,438	郵貯利息	雑 収 入	10,000			
前年度繰越金		146,836		前年度繰越金	121,841			
合 計		225,974		合 計	537,341			
歳 出 之 部				歳 出 之 部				
科 目	予 算	決 算	備 考	科 目	予 算	比 較	備 考	
会 議 費		37,278	総会1他4	会 議 費	70,000			
通 信 連 絡 費		29,255	郵税9筆 印かん他1	事 業 費	280,000			
慶 弔 費		10,000	広告2筆	通 信 連 絡 費	30,000			
補 助 負 担 費		4,000	花まつり 4筆	慶 弔 費	15,000			
予 備 費		23,600	印刷2筆	補 助 負 担 費	80,000			
次年度繰越金		121,841		予 備 費	62,341			
合 計		225,974		合 計	537,341			

歳入合計 225,974
 歳出合計 104,133
 差引残額 121,841

昭和50年5月10日

上記の通り収支報告書を呈出致します。

横浜市仏教連合会会長 小沢省元 ㊤

歳入合計 537,341
 歳出合計 537,341
 差引残額 0

昭和50年5月10日

上記の通り予算書を呈出致します。

横浜市仏教連合会会長 小沢省元 ㊤

本 会 役 員

本会は、新会則に基づき、五月十日第一回、六月二十四日第二回の総会を開き、左記の役員を承認決定、即日就任した。

名譽会長

岩本勝俊 (鶴見総持寺真首)

顧問

小沢省元 (金沢、東光禪寺)

参与

津川翠温 (神奈川、蓮法寺)

柴田敏夫 (港北、蓮勝寺)

安藤文雄 (戸塚、徳翁寺)

會長

志村慎吾 (金沢、金竜院)

副會長

福永隆昭 (南、新善光寺)

副會長兼專務理事

横山敏明 (中、西有寺)

會計

森山正城 (保土ヶ谷、福聚寺)

常務理事

松阪秀宏 (鶴見、宝泉寺)

内田大亮 (港北、金蔵寺)

寺田隆善 (緑、慈眼寺)

山本芳昭 (神奈川、遍照院)

佐藤寿心 (西、久成寺)

佐藤日香 (中、大圓寺)

安藤総持 (南港南、弘誓院)

田島海義 (保土ヶ谷、旭、大蓮寺)

川野清吾 (磯子、林香寺)

友繁禪弘 (金沢、正法院)

永原文雄 (戸塚、清源院)

備前志郎 (瀬谷、西福寺)

監事

赫田正圓 (鶴見、圓光寺)

鷹巢道孝 (戸塚、光長寺)

理事

鶴見区選出

上原良哉 (曹、常倫寺)

白石謙祐 (浄、正行寺)

森本祐堂 (浄、良忠寺)

港北区選出

從野澄勇 (日、本乗寺)

近藤憲雄 (曹、竜松院)

滝田東潤 (曹、東林寺)

安藤仁雲 (真言、三會寺)

伊藤履道 (単、西方寺)

日野教昭 (本派、最乗寺)

緑区選出 (欠員一)

飯塚美英 (曹、大林寺)

佐藤秀山 (曹、大蔵寺)

神奈川区選出

大熊信光 (浄、成仏寺)

板垣禎一 (日、長導寺)

西区選出

渡辺源証 (大谷、光源寺)

増田大彰 (真言、東福寺)

中区選出

齊藤英紀 (真言、千蔵寺)

川口益生 (真言、東漸寺)

南区、港南区選出

原 鎮恵 (日、七面教会)

実淨文英 (曹、勝国寺)

三浦 正 (時、浄光寺)

後藤泰心 (日、大法教会)

保土ヶ谷区、旭区選出

林田源真 (浄、見光寺)

善浪鉄心 (曹、正観寺)

吉川哲雄 (浄、三仏寺)

磯子区選出

滝川覚道 (真言、海照寺)

金沢区選出

和田仁雅 (真言、竜華寺)

戸塚区選出 (欠員一)

田島玄章 (臨、長福寺)

北見定賢 (曹、雲林寺)

一守靈真 (真言、証菩提寺)

瀬谷区選出 (欠員一)

委員長 友繁禪弘

委員 生方忠常 (鶴見天王院)

同 佐伯隆義 (金沢宝珠院)

同 齊藤隆法 (緑福聚院)

墓地専門委員会

委員長 佐藤寿心

委員 能登宥兆 (金沢持明院)

同 未定

名簿中、横山敏明師、森山正城師は会長指名理事である。

磯子区仏教会役員決まる

磯子区仏教会では、四月一日任期満了に伴い改選の結果左記の各師が選出された。

會長 林香寺住職 川野清吾師

副會長 海照寺住職 滝川覚道師

會計 篁修寺住職 鬼頭誠胤師

幹事 竜珠院住職 永久良雄師

理事 宝積寺住職 高梨興浄師

金蔵院住職 真田有範師

願行寺住職 井上孝道師

随縁寺住職 佐久間泰秀師

これによつて前會長、真照寺住職水谷静春師が勇退したが、常務理事として多年に亘り会の為に尽力され、特に、今回の再出発に際しては、熱情と助力を頂き、関係者一同深く感謝すると共に師の今後の法身堅固とご活躍を祈念するものである。

事務日誌

昭49・6・25 役員会 於西有寺

四十八年度の収支報告承認、四十九年度運動方針案承認、新しい市仏像への抬動始まる。

49・8・31 役員会、於西有寺

総会日程、配役等内定、規約改

正案、事業大綱等の審議

49・9・6 正午役員会於西有寺

二時、総会、委任状呈出三五五名、出席二十一名

水谷静春師司会により日程通り進行し、志村慎吾議長、佐藤寿心副議長により規約改正案の字句を一部訂正して承認。事業大綱は原案通り可決、役員は五十年三月迄留任を決定

49・10・4 天平のいらか観劇

49・10・8 常務理事会 於湯本

仙景

明年度総会の日程方針を審議

50・1・8 鶴見区仏教会長森本祐堂師任期満了にて、下末吉宝泉寺松阪秀宏師新會長に就任

50・2・26 常務理事会於西有寺

理事名簿、理事会運営等を審議

50・3・15 理事会、於西有寺

委任状十五通、出席十八名、欠席九名。事業方針を決定、予算書承認役員選出

50・5・10 午後二時、於西有寺

第一回総会

50・6・24 正午理事会於西有寺

午後二時、第二回臨時総会

西郊区仏教会々々、市仏連常務理事、西郊豪瑞師 (久保町一三九ノ一安禅院三十九世、円満寺四世) は、去る四十六年六月、勸募中、不慮の災禍に会い、永らく療養していたが近親者の手厚い看護も届かず、去る五月二日午前九時四十分遷化された。世寿七十四才。本葬は五月二十三日円満寺本堂において、比叡山延曆寺執行森定慈昭

大僧正導師にて檀信徒葬の礼をもつて盛大厳肅に執行され佐藤寿心常務が弔辞を呈した。

師は、昭和二十一年一月円満寺住職を拝命以来三十年間住職として、山門、庫裡、本堂等の改築を成し、県仏・市仏の常務理事、西区仏教会長の要職を歴任し、宗内においても叡山講詠歌指導委員、教区布教師会副會長、選挙管理委員、また民生委員、保護司として活躍され、昭和四十六年大僧正に補任された。その功績を称え會員一同心より弔意を表するものである。追号は禅浄光院大僧正豪瑞大和尚。後輩は昭和四十八年就任された西郊良光師である。

寺名変更

港北区綱島台一ノ一八、曹洞宗陽林庵 (東詰臣住職) では、本年五月二十五日付をもって寺号を陽林寺と改称した。

編集雑記

本会も、新会則が定められ、会費の増額と新役員の就任、また特別委員会の常置が決まり、本会にとって初めての会報発刊が決定したことも、当初二回の発行とはいへ大きな進歩であり喜ばしいことである。

ご多分にもれず当方浅学非才、多忙を理由として、不出來な会報を届ける次第、大方諸賢の叱正を頂き、逐次改めていきたいと心がけております。會員各師のご寄稿とご援助をいただければ幸いです。

福永・横山生